

新発見！考古速報 2022

岐阜県発掘調査報告会

県文化財保護センターでは、県民の皆様に、埋蔵文化財への理解と、ふるさと岐阜の歴史への関心を深めていただくことを目的に、毎年発掘調査報告会を開催しています。今年度は、岐阜県の歴史を語る上で注目すべき発見となった3件の発掘調査成果を発掘担当者や報告書の執筆担当者が報告します。また、遺跡から出土した遺物の展示を行います。

令和4年10月22日(土)

13:15～15:45
(受付12:45～)

当日受付

入場無料

会場 岐阜県図書館 多目的ホール



県史跡 坊の塚古墳 ぼうのつかこふん(各務原市)

坊の塚古墳は、県下2番目の規模を誇る墳長120mの前方後円墳である。平成27年度～令和3年度に内容確認の発掘調査を実施した。その結果、築造は4世紀後葉、円筒埴輪を並べた三段築成の墳丘で、壺形土器や滑石製模造品を用いた墳丘祭祀が行われたことなどが明らかになった。



最新の
発掘成果を報告!



小洞古墳群 こほらこふんぐん(関市)

平成27年度に発掘調査を実施した。2・4号古墳の墳丘・石室構造が明らかになり、2・6号古墳墳周から比較的小規模な9・10号古墳及び土坑墓を新たに発見した。各古墳の築造順や位置関係から2つのグループが存在していたことが分かり、古墳群の形成過程が明らかになった。



古町遺跡 ふるまちいせき(関市)

平成30年度に発掘調査を実施した。室町時代の鍛冶作業に関連する遺構・遺物を確認した。炉跡や椀型滓の他、フイゴの羽口や金床石、鍛造剥片と粒状滓を検出し、鉄製品の加工を行っていたことが明らかになった。また、短刀の出土から、刀鍛冶も行われていたと考えられる。

お問い合わせ先

岐阜県文化財保護センター 調査課

TEL 058-237-8550 月～金曜日(祝日を除く)9時～17時

FAX 058-237-8551

E-mail: c21807@pref.gifu.lg.jp

主催 岐阜県文化財保護センター 共催 岐阜県図書館

